

令和6年8月6日

青森県「農林水産力」強化本部

8月5日現在水稻出穂状況

地域	本年	平年	前年
東青	97	59	100
中南	99	73	99
西北	97	73	100
上北	100	50	100
下北	99	31	100
三八	98	61	99
県全体	98	66	100

注)各地域農林水産部調べ、小数点以下は四捨五入
平年値は過去10か年の平均

<概況>

8月5日現在の水稻出穂状況は、県全体で98%となった。

県全体の出穂始めは平年より4日早い7月27日、出穂最盛期は平年より5日早い7月30日、出穂終わりは平年より5日早い8月4日であった。

<技術対策>

- ・出穂後10日間は、開花・受精のため5～6cm位の水深を保つ。
- ・開花終了後に高温となる場合は、水の入れ換えや掛け流し、飽水管理によって稲体の温度を下げ、根の活性を維持する。
※飽水管理・・・水尻を止水して自然減水し、溝や足跡に水が溜まっている状態になったら2～3cm程度かん水することを繰り返す管理
- ・斑点米カメムシ類の発生が多いと予想されるので、適期防除を徹底する。

参考〈出穂の進度〉 (月/日)

	本年	平年	前年
始め	7/27	7/31	7/27
最盛期	7/30	8/4	7/30
終わり	8/4	8/9	8/3

※始め：出穂した割合が5%に達した日

※最盛期：出穂した割合が50%に達した日

※終わり：出穂した割合が95%に達した日

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	農林水産部農産園芸課 稲作・畑作振興グループ 総括主幹 成田真樹
電話番号	直通 017-734-9480 内線 5073
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊 内線 4966